

神話スライドset シリーズ

# 嫦娥伝説

スライド枚数	: 12枚
時間	: 4分20秒
イラスト	: 塚田 洋子
ナレーション	: 藤田 淑子

**LIBRA** CORPORATION

+音始まり



1. むかし、地上の人々を災いから救うため、天界からガイと嫦娥という夫婦が舞い降りてきました。



ガイは人々のために力を尽くし、この世はなにも恐れるものがなくなったのです。

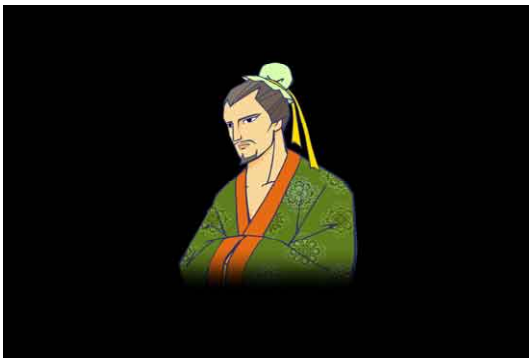
でも、一方で地上で人間になってしまったガイと嫦娥は「死」からのがれることができなくなっていました。

4.

2. なんとかして、死なずにすむ方法はないのだろうか。

ガイは毎日考え、そんなある日・・・

西の果てに「不老不死」の薬を持っている老婆の話を目にしたのです。



3. 彼は、西へ西へと進みました。





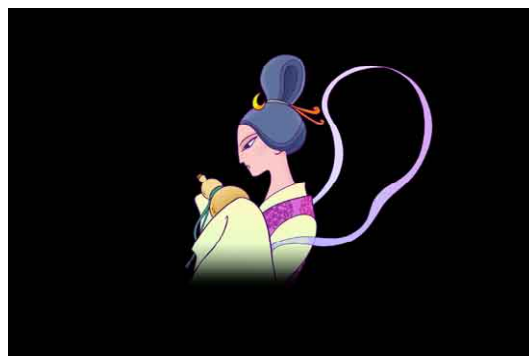
4. ゲイは、老婆のもとにたどりつくと、事情を話そうとしました。  
ところが、老婆は彼の話さえぎって、こう言ったのです



5. 「やっときたか。この薬は、そなたたちのために残しておいたもの、必ず2人で飲むように。2人で飲めば歳もとらないし、死ぬこともない。」  
「では、1人で飲むとどうなるのですか？」とゲイが尋ねると・・・  
「1人で飲むと、飲んだ者は天上の世界へ戻ることができる。だが、残った一人は、地上で人間として死を迎えなければならんのじゃ。」



6. 彼は、薬をもらおうといちもくさんに家へと帰り、妻の嫦娥に薬の話をしました。  
そして、日がよいときに2人で飲もうと決めたのです。



7. しかし、嫦娥は違うことを考えていました

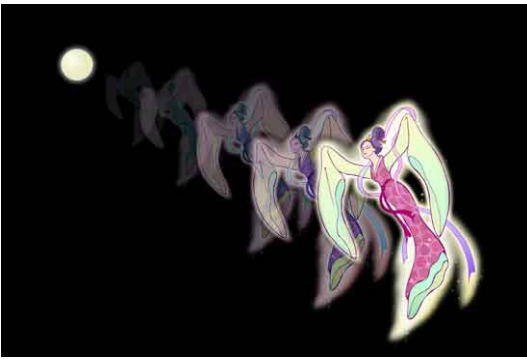
「もう1度、天にもどりたい」  
もともとは天上の女神だった嫦娥。夫についてきたばかりに、人間になってしまったと、不満に思っていたのです。

8. 夫が狩りに出かけた、ある月の明るい夜のこと。



嫦娥は「今日しかない」と、薬が入ったひょうたんをあげ、飲み干してしまいました。

9. すると、体がフワリフワリと浮かび上がり、空へと登っていったのです。



夜空には、満月が彼女を招くかのように輝いています。

どこまでも、どこまでものぼり続け・・・  
嫦娥は月の中へ消えていきました。

+音変わり

10. 一月が経ち、ゲイが狩りから帰ると、嫦娥の姿はなく、からのひょうたんだけが転がっていました。



「ま、まさか・・・」

ゲイは必死にジョウガの姿を探しましたが見つかりません。

11. そして、探し疲れたゲイが夜空に輝く月を仰ぐと・・・



そこには、それまで無かった模様がありました。  
実はこの模様、寂しさと後悔のあまり、醜い蛙になった妻、嫦娥の姿だったのです。